

成和小学校では本年度「魅力ある学校づくり推進事業」の指定を受け、下記のような取り組みを進めていきます。

1 取り組むテーマ（目指す学校づくり）

生活に根ざす(生活を豊かにする)コミュニケーションの担い手をめざして
～プリント配信システムによる家庭学習の定着・向上を通して～

2 テーマ設定の背景、現状等

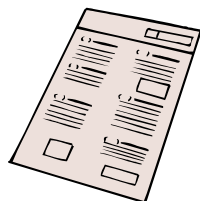
(1) 現状 児童のコミュニケーション力の低下（話を聞けない・自分の考えを伝えられない・表現できない）が学校の教育活動全体に対して影響を与えている。

(2) 背景 生活全体におけるコミュニケーションの場面の減少。
無責任な言語情報の増大（インターネット・雑誌）。
目に見えない相手との文字言語のみのコミュニケーション。
新学習指導要領の視点からも全ての教育活動で言語活動を充実させる必要がある。
以上のことから対話力の育成は不可欠である。



3 取り組むテーマの成果指標及び目標 CRTテスト・児童アンケート

成果指標	<p>① CRTテストにおいて、唐津市平均より、マイナスがある学年の平均値を唐津市以上にする。</p> <p>② 5・6年児童の家庭学習平均時間を5分間増やす。</p>
成果指標の目標	<p>①（現状）CRTテスト（H23.1月実施、対唐津市平均比較） 国語 1年(-0.8) 2年(+3.1) 3年(-5.6) 4年(-1.2) 5年(+4.6) 6年(-2.4) 算数 1年(-0.3) 2年(+5.4) 3年(-1.2) 4年(+1.4) 5年(+5.6) 6年(-2.4) （目標）全ての学年においてCRT平均値を唐津市平均値以上にする。</p> <p>②（現状）5・6年児童の家庭学習平均時間 （H23.4月、県学習状況調査より） 5・6年生平均（76.5分） （目標）平均時間を5分間増やす。</p>
	<p>（目標の根拠）</p> <p>①教師の指導力の向上⇒児童の学習意欲の向上 ①児童の自己決定力の育成(自分の考えを自分の言葉でつづる) ⇒CRTテスト等における無回答の減少 ②学習プリント配信システムによる個に即したプリント学習の定着。 宿題の工夫（自主学習の推進）により、家庭学習の時間を増やす。</p>



4 事業期間

平成23年 4月 ～ 平成24年 3月



5 実施内容

(1) 協議・検討のための会議等の設置

主な構成等	人員数	開催予定回数
研究推進委員会（校長・教頭・研究主任・学年代表・指導法改善担当）	9人	4回
学力向上委員会（校長・教頭・教務・学力向上コーディネーター・学習部）	8人	4回

(2) 予定している主な調査・研究活動

- ・県学力状況調査・CRTテストの分析・経年比較による児童の実態から見た指導法の改善。
- ・対話活動の活性化を目的とした活動と対話活動を方法としてコミュニケーション力の向上を目指した授業の創造。
- ・プリント配信システムによる家庭学習の定着と家庭学習時間・内容の向上。
- ・平成23年度自主研究発表会（平成23年11月予定）。

(3) その他、当事業において実施する事項

- ・県内外の研究内容・方法の情報交流。
- ・佐賀大学名誉教授、白石壽文先生を講師とした職員研修会。



6 教育事務所、佐賀大学、教育センター等の活用計画

実施時期 (月)	協力要請先 支援要請先	協力要請及び支援要請の内容
6月	東松浦教育事務所 唐津市教委	全校授業研究会：指導・助言（市教委・事務所）
7月	東松浦教育事務所 唐津市教委	全校授業研究会：指導・助言（市教委・事務所）
8月	教育センター	県学力テストの分析と課題について
8月	佐賀大学	指導案検討：佐賀大学：白石壽文 名誉教授
11月	佐賀大学 東松浦教育事務所 唐津市教委	自主研究発表会：指導・助言